

取扱説明書

AQUA

布団クリーナー

家庭用（業務用としては使用しないでください）

品番 AQC-FT1R



もくじ

安全上のご注意	2~4
使用上のお願い	5
各部のなまえ	6~7
使いかた	8~10
各部の機能	11
ゴミの捨てかた	12
お手入れ	13~15
故障かな?と思ったとき	16~17
消耗品	17
仕様	18
保証とアフターサービス	18
お客さまご相談窓口	19
保証書	裏表紙

このたびはお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
また本書は保証書も兼ねています。必ず、お買い上げ日・お客様名・販売店名などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証書付
(裏表紙)

日本国内専用
Use only in Japan

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害・財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。

- 表示の説明（取り扱いを誤った場合に生じる危害・損害の程度を示します）
- 図記号の説明

 危険	「死亡、または重傷を負う可能性が高い内容」を示します。		「危険」「警告」「注意」を促すことを示します。
 警告	「死亡、または重傷を負う可能性がある内容」を示します。		してはいけないこと「禁止」を示します。
 注意	「軽傷や物的損害が発生する可能性がある内容」を示します。		しなければならないこと「指示」を示します。

警告



指示

●異常・故障時にはすぐに使用を中止する

(火災・感電・けがの原因)

異常・故障例

- ・ 運転ボタンを押しても運転しない。
- ・ 電源プラグやコードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・ 運転中、ときどき止まる。
- ・ 運転中、異常な音がする。
- ・ 本体が変形していたり、異常に熱い。
- ・ こげくさい臭いがする。
- ・ 部品が破損している。

すぐに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはお客さまご相談窓口にて点検・修理をご依頼ください。

●本製品は安全に使用できる環境下かつ安全な使いかたと危険性を理解している方の指示監督のもとで使用する

(けが・やけど・感電の原因)

特にお子様が遊ぶことがないようにご注意ください。



禁止

●電源プラグや電源コードが傷んだり、熱くなったり、コンセントの差し込みがゆるい場合は使わない

(火災・感電・けが・ショートの原因)

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

●電源コードを傷つけない

(火災・感電・ショートの原因)

- ・ 加工しない
- ・ 熱器具に近づけない
- ・ 引っ張ったり、重いものをのせたり、はさんだりしない
- ・ 無理に曲げたり、ねじったり、束ねて通電したりしない

●電源コードを束ねて通電しない

(火災・やけど・故障の原因)



禁止

●コンセントや延長コードの定格を超える使いかたをしない

(火災・やけどの原因)

●交流100V以外で使用しない

(火災・感電・故障の原因)



指示

●電源は交流100Vのコンセントを使用する

(火災・感電・故障の原因)

●電源プラグは根元まで確実に差し込む

(感電や発熱による火災の原因)

●電源プラグの刃や刃の取り付け面にホコリが付いた場合は、乾いた布で拭き取る

(ホコリがたまること、湿気などで、絶縁不良による火災の原因となります)

警告



指示

- お手入れをするとき、点検をするときは、必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く
(感電・けがの原因)



禁止

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
(感電・けがの原因)



禁止

- 幼児の手の届くところには置かない
(事故・感電・けがの原因)
- 高温の場所(火やストーブのそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)やホコリの多い場所、油煙の当たる場所で使用・保管しない
(発熱・発煙・破裂・発火・故障の原因)



禁止

- 本体を落としたり、強い衝撃を与えたりしない
(感電・発熱・火災・故障の原因)



禁止

- 水洗いや、風呂場・屋外では使用しない(水洗いできる部品を除く)
(ショート・感電・故障の原因)
- 浴室の近くなど湿気の多いところや、水にぬれる場所で使用しない
(感電・発火・異常発熱・故障の原因)
- ぬれている部品(ダストカップ・回転ブラシなど)は使用しない
(感電・発火・故障の原因)



禁止

- 次のようなものは、絶対に吸わない
(火災・感電の原因)
 - ・アルミニウム、マグネシウム、チタン、亜鉛などの爆発性粉じん
 - ・ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料などの引火性のものや、水、油、薬品などの液体
 - ・たばこの吸いながら、灰などの高温のものや、高速切断機、グラインダー、溶接機などから発生する火花を含む粉じん
 - ・石こう、セメントなどの粉じん
 - ・鉄粉、カーボンなどの可燃性、導電性粉じん
 - ・ガラス、ピン、針、つまようじなどの鋭利なもの
 - ・ペットなどの排泄物が付着したもの
- ダストカップを外したまま運転しない
(事故・故障の原因)



禁止

- 運転中は回転ブラシや本体の吸引口、排気口には触れない
(けがの原因)
特にお子様にはご注意ください。



禁止

- 改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
(火災・感電・けがの原因)
修理は、お買い上げの販売店またはお客さまご相談窓口にご相談ください。
- 本体の排気口やすき間に指や金属物・異物を入れない
(感電・けが・故障の原因)
- 可燃性の液体・ガス・粉塵のある場所で使用しない
(発火・爆発の原因)

注意



禁止

- 火気に近づけない
(本体が変形し、ショート・発火・故障の原因)
- 人やペットに向けて使用しない
(けが・事故の原因)



指示

- フィルターを必ず取り付ける
(火災・故障の原因)
純正のフィルターを正しく取り付けないと、モーターや電気部品の発熱・発火・故障・異常音・吸引力低下の原因となります。

⚠ 注意



禁止

- 電源プラグに液体を付着させない
(感電・ショート・過熱による変形・発火・故障の原因)
- 吸込口をふさいで長時間運転しない
(過熱による本体の変形・発火・故障の原因)
- 排気口を手やビニールなどで密封しない
(過熱による本体の変形・発火・故障の原因)



指示

- コンセントから抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
(感電やショートによる発火の原因)



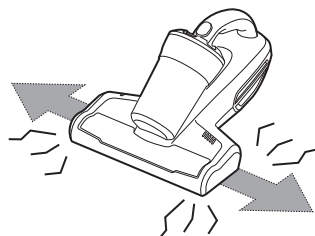
指示

- 長時間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く
(絶縁劣化による火災・感電の原因)



禁止

- 大きなゴミを吸込ませない
(過熱による本体の変形・発火・故障の原因)
お菓子やたばこの包み紙など(フィルム状のようなもの)を吸わせると、ダストカップ内部に詰まり、ゴミを吸わなくなったり、ゴミ漏れのおそれがあります。
- 本体を横方向に引きずらない、強く押し付けない



UVライトについて

⚠ 危険



禁止

- 使用中にUVライトをのぞき込まない
(目の疾患の原因)
- 使用中UVライトに触れない
(炎症・皮膚疾患の原因)
- 人や動物の目や皮膚にUVライトを直接当てない
(目や皮膚の炎症・疾患の原因)
- UVライトを交換しない
(目や皮膚の炎症・疾患の原因)
- UVライトを取り外し別用途へ使用しない
(目や皮膚の炎症・疾患の原因)



禁止

- 製品を裏返して床検知センサーに触れない
(目や皮膚の炎症・疾患の原因)
床検知センサーが反応しUVライトが点灯します。目や皮膚にUVライトが照射される危険性があります。
床検知センサーの位置は「各部のなまえ 6ページ」参照



指示

- 目や皮膚に異常が発生した場合は、医師に相談する

使用上のお願い

本製品を快適、安全にご使用いただくため、以下の注意事項をよくお読みください。

使いかたについて

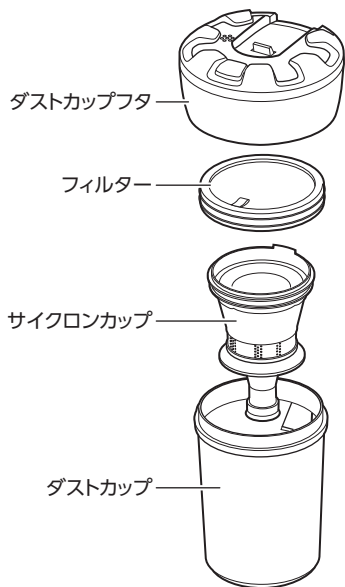
- ご使用中に本体があたかくなりますが、制御回路に電流が流れたり、モーターの動作による熱です。異常ではありません。
- フィルターやダストカップ部は必ず取り付けてご使用ください。
- 運転中は吸引口、排気口を手やビニールなどで密封しないでください。
- 大きめの紙片や包装用フィルムなどは、お掃除の前にあらかじめ拾っておいてください。吸引経路やダストカップ内部に詰まる場合があります。
- ピアノなどの光沢のあるところでは使用しないでください。傷が付くおそれがあります。
- 刺繍や凹凸のある生地、革製品、畳には使用しないでください。生地を傷める恐れがあります。
- 本体を持ち運ぶときは、ハンドルを持って持ち運んでください。
- 本製品では運転に異常があると保護機能がはたらきます。
- お手入れを行うときは、必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜き、各部が冷えてから行ってください。
- 使用しないときはコンセントから電源プラグを抜いてください。

保護機能について

保護機能	保護内容
過熱保護	本体が熱くなりすぎると、過熱を防ぐために一時的にモーターが動かなくなります。 →本体の温度が下がってから再度ご使用ください。
ブラシ回転保護	回転ブラシに絡まりやつまりがあり回転できない状態になると保護がはたらき、ブラシのモーターが回転停止します。(吸引とUVライトは継続して運転します。) →回転ブラシのお手入れを行ってください。
床検知センサー	本体を持ち上げるとUVライトが停止します。

各部のなまえ

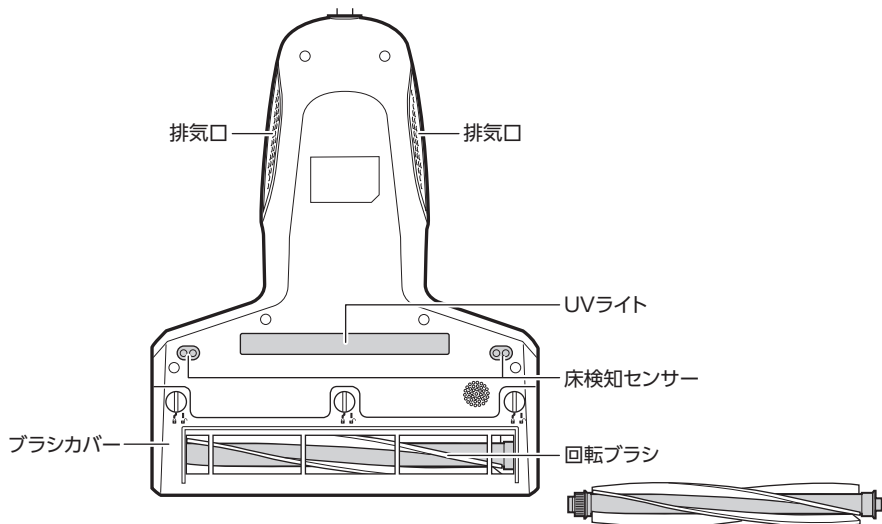
ダストカップ部



本体

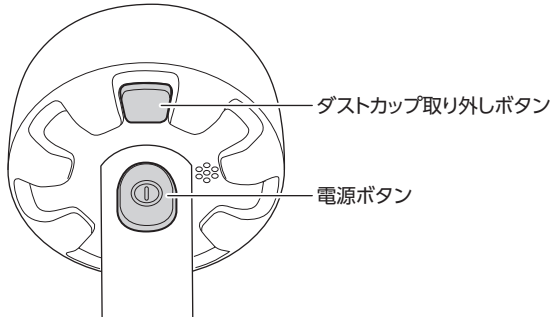


底面



操作部

- 電源ボタンを押すたびに、運転開始／運転停止をくり返します。

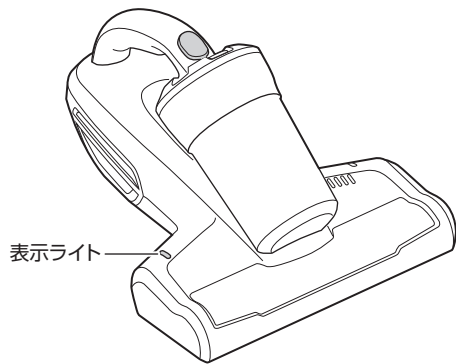


表示部

- 運転中は表示ライトが点灯します。

点灯  …電源「入」

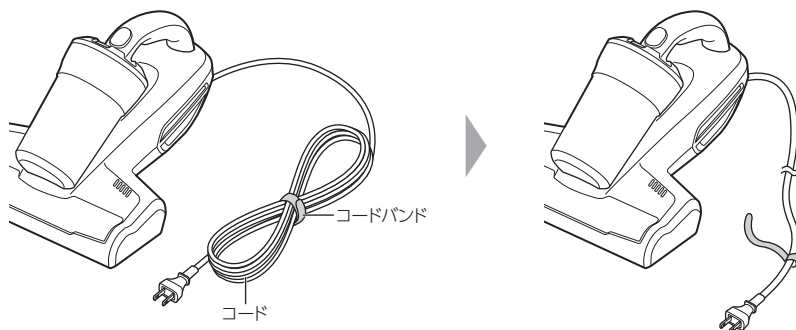
消灯  …電源「切」



使いかた

ご使用前の準備

1 電源コードの束をほどく

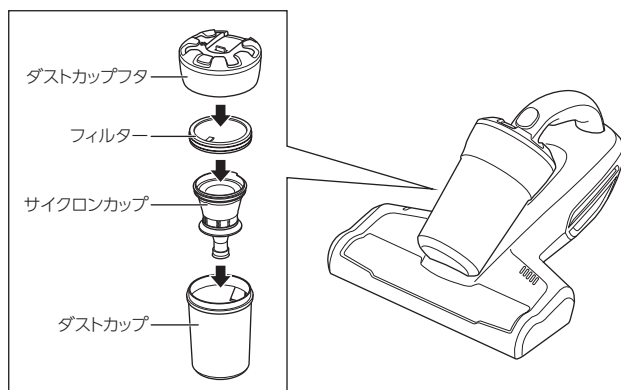


ご注意

- 電源コードは束ねたまま使用しないでください。コードの過熱によるやけどや火災の原因となります。

2 ダストカップ部が確実に取り付けられていることを確認する

- フィルター・サイクロンカップが取り付けられていることを確認してください。
- ダストカップフタが閉まっていることを確認してください。
- ダストカップ部の取り付け・取り外しは「ごみの捨てかた (12ページ)」参照



ご注意

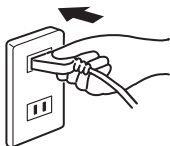
- フィルターが取り付けられていないと、モーター内部へのゴミ侵入により故障の原因となります。
- ダストカップがしっかりと取り付けられていないと、吸引したゴミが漏れる原因となります。

ご注意

- 電源コードは束ねたまま使用しないでください。コードの過熱によるやけどや火災の原因となります。
- 運転中は必ずダストカップとフィルターを取り付けてご使用ください。また、運転中はダストカップを取り外さないでください。
- フィルターが目詰まりした状態で使用を続けると、故障の原因となります。定期的にお手入れを行ってください。
- 運転中は吸引口、排気口を手やビニールなどで密封しないでください。故障の原因となります。
- ゴミはこまめに捨ててください。
- 運転中は回転ブラシに触れないでください。指の巻き込み・ケガの原因となります。

掃除を始める

1 電源プラグをコンセントに接続する



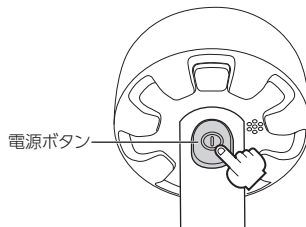
- スイッチがON状態でコンセントへ接続すると突然動き出します。コンセントへ接続する前に周辺に物が無いことを確認してください。

ご注意

- コンセントに接続していない状態で電源ボタンを押さないでください。電源ボタンが押された状態でコンセントに接続すると突然運転を開始します。

2 ハンドルを持ち、電源ボタンを押す

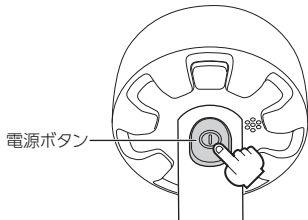
- モーターが回転し、運転を開始します。
- 運転中は表示ライトが点灯表示します。



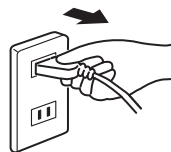
掃除を終わる

1 電源ボタンを押して運転を停止する

- 表示ライトが消灯し運転が停止します。



2 電源プラグをコンセントから抜く



- 掃除を終えるときは必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。運転を停止せずに電源プラグを抜くと、次回使用時に電源プラグをコンセントに接続すると突然運転を開始します。

ご注意

- コンセントから抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。
- ダストカップの中身は掃除後に毎回捨ててください。
- 使用後は、毎回必ず電源プラグからコンセントを抜いてください。

使いかた(つづき)

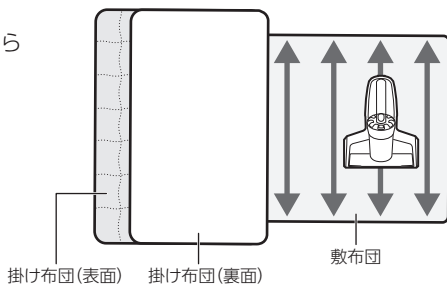
布団の掃除

1往復約10秒を目安に前後に掃除する

※ 布団はしわが少なくなるように平らに広げてから掃除してください。

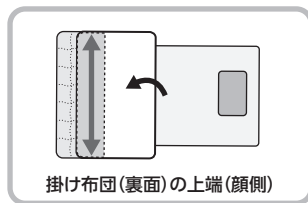
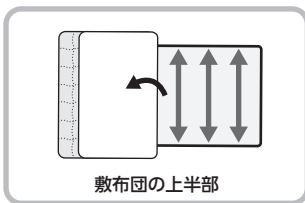
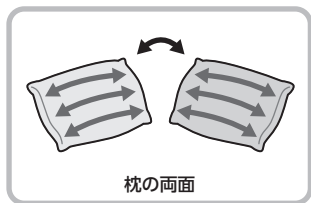
ご注意

- 布団クリーナーを布団に押し付ける必要はありません。前後に移動させて使用ください。



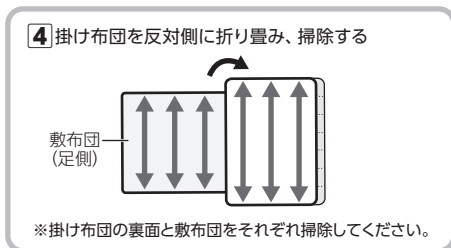
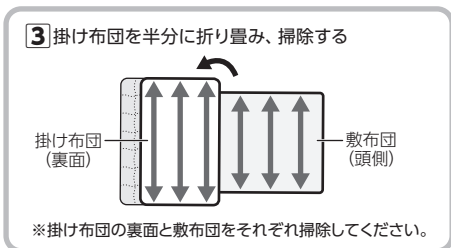
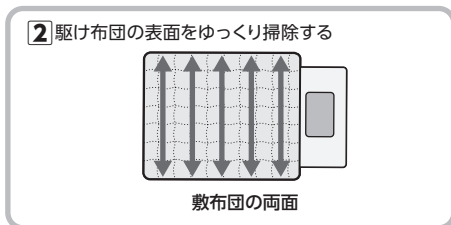
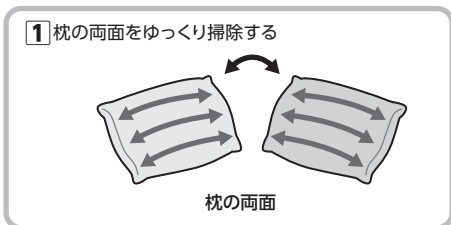
日々の掃除

- ダニやふけの溜まりやすい顔まわりや上半身の付近は2日に1度を目安に掃除してください。



しっかり掃除

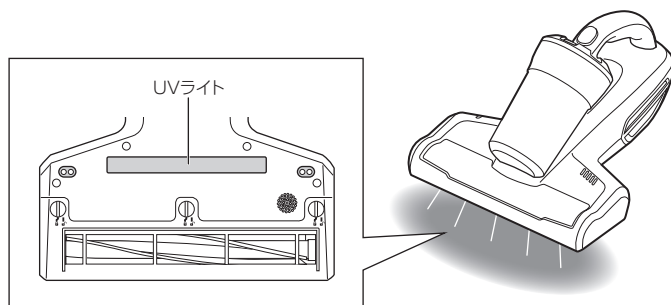
- 週に1度は布団全体をしっかりと掃除してください。



各部の機能

UV機能

本製品は運転中、使用面に向けてUVライトを照射します。



ご注意

- UVライトを絶対にのぞき込まないでください。
- 製品を裏に向けて強制的にUVライトを動作させるなど、通常とは異なる使い方をしないでください。
- 人や動物の目や皮膚にUVライトを直接当てないでください

使用方法を誤ると、炎症や皮膚疾患など目や皮膚に害を及ぼすおそれがあります。

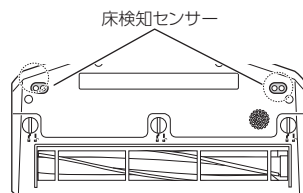
(万一異常が発生したときは、医師にご相談ください)

床検知センサー

運転中に本体を持ち上げると、床検知センサーが作動しUVライトが消灯します。

ご注意

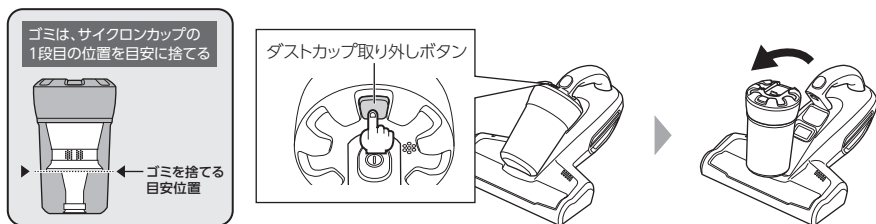
- 運転中は床検知センサーに触れないでください。
- 床検知センサーはこまめに清掃してください。ゴミの付着による誤作動の原因となります。




ゴミの捨てかた

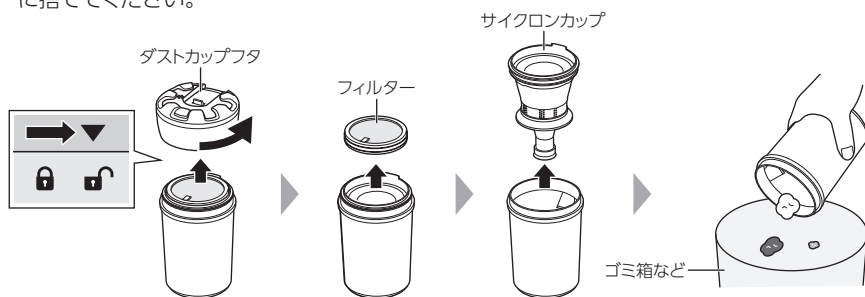
1 ダストカップを取り外す

- ダストカップ取り外しボタンを押しながら、ダストカップを持ち上げ取り外してください。




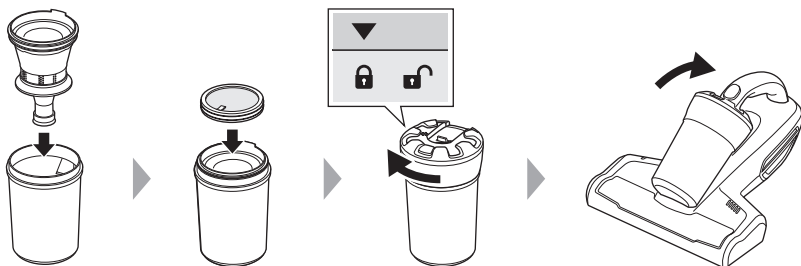
2 ダストカップの中身を捨てる

- ダストカップフタの目印「▼」が「」の位置になるように回してロックを外してください。
- ダストカップフタとフィルター、サイクロンカップを取り外し、ダストカップの中身をゴミ箱などに捨ててください。



3 ダストカップを本体に取り付ける

- フィルター・サイクロンカップをダストカップに取り付ける。
- ダストカップフタの目印「▼」が「」の位置になるように回して固定してください。
- “カチッ”と鳴るように本体に取り付けてください。



ご注意

- ゴミはこまめに捨ててください。
- ダストカップは「カチッ」と音が鳴るようにしっかり取り付けてください。しっかり取付いていないと吸い込んだゴミが漏れたり吸引力が弱くなる場合があります。

お手入れ

警告 ・お手入れを行うときは、必ず運転を停止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。

ご注意

・シンナー・ベンジン・アルコール・漂白剤・研磨剤入り洗剤などは使わないでください。変質、変色の原因となります。



・このアイコン表示がある部品は、絶対に水洗いや水拭きをしないでください。

*お手入れはこまめに行ってください。

本体・電源プラグ

● お手入れの目安：汚れが気になるとき

表面の汚れを乾いた柔らかい布で拭き取り、排気口に付着した汚れを取り除く

- 排気口についたホコリやゴミは取り除いてください。ホコリやゴミが付着したまま使用すると故障の原因となります。

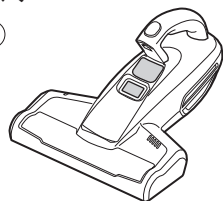
吸引口や吸引経路に付いた汚れを乾いた柔らかい布で拭き取る

- 吸引口や吸引経路にゴミのつまりがある場合は取り除いてください。

電源プラグの刃や刃の取り付け面にホコリが付いた場合は、乾いた布で拭き取る

- 電源プラグの刃にホコリがたまると、湿気などで、絶縁不良による火災の原因となります。

本体



ダストカップ部

● お手入れの目安：汚れが気になるとき

ゴミやホコリを取り除き、汚れがひどい場合は水洗いをする

- 下記の手順に従って、ダストカップ部を分解してお手入れを行ってください。

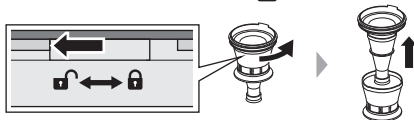


1 ダストカップを取り外し、ゴミを捨てる

- ダストカップの取り外しかたは、「ごみの捨てかた (12ページ)」をご参照ください。

2 ダストカップからフィルター・サイクロンカップを取り出す

- サイクロンカップを水洗いする場合は、「」方向に回して分解してください。



ダストカップフタ



フィルター



サイクロンカップ




ダストカップ

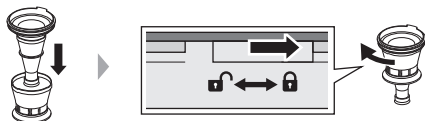


3 各部のお手入れを行う

- 付着したゴミやホコリを取り除き、汚れが落ちにくいときは水洗いをしてください。
- フィルターに付着した汚れを軽くはたいて落としてください。
※ フィルターを傷つけないようにご注意ください。
- フィルターが破れた状態では使用せず、新しいフィルターと交換してください。(モーターの故障や発煙発火の防止)
- フィルターは消耗品です。お手入れをしても吸引力が弱くなってきたら交換してください。(保証期間内でも有料です。)

4 ダストカップを、本体に取り付ける

- ダストカップの取り付けかたは、「ごみの捨てかた (12ページ)」をご参照ください。
- サイクロンカップを分解した場合は、よく乾かしてからパーツを組み合わせ「」方向に回して固定してください。



ご注意

- 各部品を濡れたまま取り付けないでください。(感電・発火・故障の原因となります。)
- 直射日光の当たる場所や、ドライヤーなどで乾燥しないでください。

お手入れ(つづき)

回転ブラシ

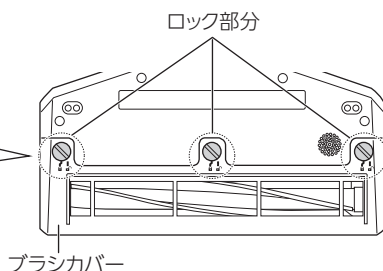
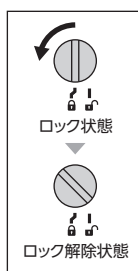
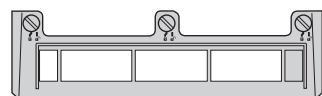
● お手入れの目安:吸引力の低下や毛ゴミが絡みついたとき、汚れが気になるとき
回転ブラシを取り外し汚れを取り除く

● 下記の手順に従って、回転ブラシを取り外してお手入れを行ってください。

1 本体裏面のブラシカバーのロック部分を外す

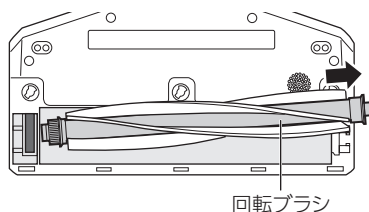
● ブラシカバーのロック部分3箇所をそれぞれコインなどを使用し固定を外してください。

ブラシカバー



2 ブラシカバーを取り外し回転ブラシを抜き取る

回転ブラシ

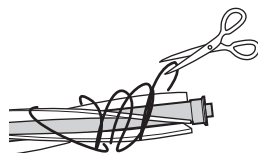


3 各部のお手入れを行う

- 付着したゴミやホコリを取り除き、汚れが落ちにくいときは水洗いをしてください。
- 回転ブラシにゴミや糸などが巻き付いた場合はハサミなどで取り除く
- 汚れが落ちにくい場合は、水洗いをする。

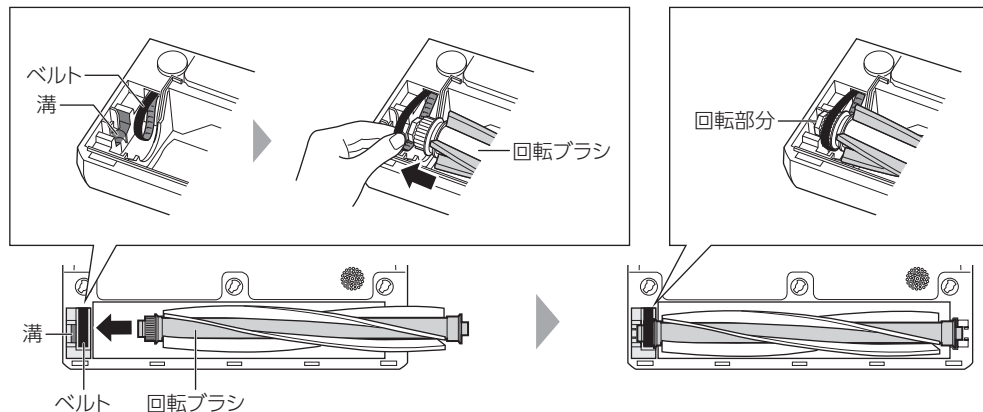
ご注意

- 各部品を濡れたまま取り付けないでください。感電・発火・故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所や、ドライヤーなどで乾燥しないでください。



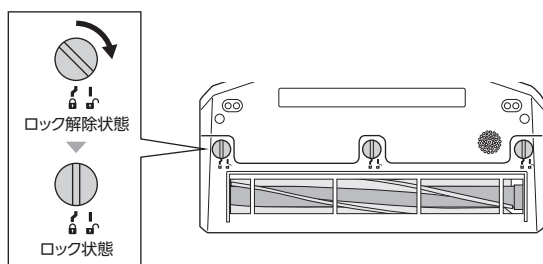
4 回転ブラシを取り付ける

- 回転ブラシ先端の歯車部分をベルトに固定してください。
- ベルトを固定した状態で回転ブラシの先端を外側に引っ張り、回転ブラシ先端の回転部分を本体の溝にはめ込み固定してください。



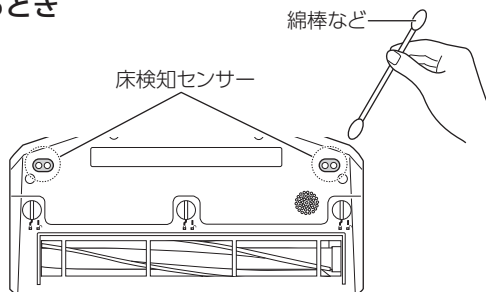
5 ブラシカバーを取り付けロック部分を固定する

- ブラシカバーのロック部分3箇所をそれぞれコインなどを使用し、固定してください。



床検知センサー

- お手入れの目安：汚れが付着しているとき
綿棒などを使用し汚れを取り除く



故障かな？と思ったとき

ご使用中に異常が生じたときは、まず次の点をお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと	参照ページ
運転しない または 運転中に止まる	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体が異常に熱くなっていませんか。 ➔ 本体の温度が高くなったとき過熱を防ぐため、本体が自動的に停止することがあります。ダストカップの中身を捨て、本体が冷めてから再び運転してください。 	5
	<ul style="list-style-type: none"> ● 吸引口にゴミが詰まっていますか。 ➔ 保護機能が働いています。詰まっているゴミを取り除き、本体が冷めてから再び運転してください。 	5
	<ul style="list-style-type: none"> ● 回転ブラシにゴミや髪の毛、糸くずが巻き付いていませんか。 ➔ からんだ髪の毛やゴミをハサミなどを使い取り除いてください。 	14
本体があたたかい	<ul style="list-style-type: none"> ● 制御回路に電流が流れたり、モーターの動作による熱です。 ➔ 異常ではありません。 	5
ダストカップが本体に 装着できない	<ul style="list-style-type: none"> ● フィルターがダストカップに正しく取り付けられていますか。 ➔ フィルターをダストカップに確実に取り付けてください。 	8
	<ul style="list-style-type: none"> ● ゴミなどの異物を挟み込んでいませんか。 ➔ 異物を取り除いてください。 	13
運転音が大きくなった 大きな音がする	<ul style="list-style-type: none"> ● 吸引口またはダストカップに異物が詰まっていますか。 ➔ 異物を取り除いてください。 	13
	<ul style="list-style-type: none"> ● ダストカップがゴミでいっぱいになっていませんか。 ➔ ゴミを捨ててください。 	12
	<ul style="list-style-type: none"> ● フィルターがダストカップに正しく取り付けられていますか。 ➔ フィルターをダストカップに確実に取り付けてください。 	8
	<ul style="list-style-type: none"> ● フィルターが目詰まりしていませんか。 ➔ フィルターのお手入れを行ってください。 	13
吸引力が弱くなった	<ul style="list-style-type: none"> ● ダストカップがゴミでいっぱいになっていませんか。 ➔ ゴミを捨ててください。 	12
	<ul style="list-style-type: none"> ● フィルターが汚れていませんか。 ➔ フィルターのお手入れをしてください。 	13
	<ul style="list-style-type: none"> ● 吸引口や回転ブラシに大きなゴミが詰まっていますか。 ➔ ゴミなどを取り除いてください。 	14

故障かな？と思ったとき(つづき)

こんなとき	お調べいただくこと	参照ページ
回転ブラシが回らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 回転ブラシに大きなゴミが詰まっていたり、ゴミや糸くずが巻き付いていませんか。 → 異物を取り除いてください。 	14
	<ul style="list-style-type: none"> ● 回転ブラシは本体にしっかり取り付けられていますか。 → 正しくセットしてください。 	14
排気口から ゴミの臭いがする	<ul style="list-style-type: none"> ● 臭いの強いゴミを吸引したまま放置しておく、運転直後にゴミの臭いがすることがあります。 → ダストカップの中身を捨てて、お手入れをしてください。 	13
	<ul style="list-style-type: none"> ● フィルターが汚れていませんか。 → フィルターのお手入れをしてください。 	13
持ち上げても UV ライトが消えない	<ul style="list-style-type: none"> ● 床検知センサーに汚れが付着していませんか。 → 運転を停止して床検知センサーの汚れを取り除いてください。 	15


※上記解決方法を行っても症状が改善されない場合は、お客さまご相談窓口かお買い上げの販売店にご相談ください。「[お客さまご相談窓口 \(19ページ\)](#)」

消耗品

交換時期を目安に、破損・劣化してきたら交換してください。

※表の部品は消耗品です。保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

お買い求めは、お買い上げの販売店または当社「[お客様ご相談窓口 \(19ページ\)](#)」にご相談ください。

部品名	品番	個数	交換時期の目安	希望小売価格
■フィルター 	0530087621 (サービス扱い)	1 個	お手入れをしても吸引力が弱くなってきたら交換してください。	1,100円(税込)

(希望小売価格は2024年7月現在)

仕様

品番	AQC-FT1R
電源	AC 100 V 50/60 Hz
消費電力	330 W
電流ヒューズ	8 A
集じん容積	0.2 L
コード長さ	3.5 m
外形寸法	幅 260 × 奥行 322 × 高さ 191 (mm)
質量	2.0 kg
UV波長	275 nm (LED)
たたき回数	約 18000 回/分

※仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証書 (取扱説明書裏面)

この商品には保証書がついています。お買い上げの販売店で発行しますので、保証書の「販売店・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日より1年間です。

修理サービス

使用中に具合が悪くなったときは、「故障かな?と思ったとき」→16~17ページに従って調べてください。直らないときは、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご相談ください。

- 保証期間中は、保証書の記載内容により販売店が修理いたします。
- 保証期間内であっても、お客さまの誤使用で故障した場合は、有料修理となります。
- 保証期間がすぎているときは、修理により機能が維持できる場合、お客さまのご要望により有料修理となります。

補修用性能部品の保有期間

布団クリーナーの補修用性能部品の保有期間は、**製造打ち切り後 6年**です。

- ・補修用性能部品…その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

保証期間をすぎてもご要望により有料で修理させていただきます。修理料金は、以下の内容で構成されています。

技術料	診断、修理、調整、点検などの費用です。
部品代	修理により使用した部品および補助材料代です。
出張費	ご依頼により技術者を派遣する費用です。

まずはお買い上げの販売店へご相談ください。販売店にご相談できない場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

長年ご使用の布団クリーナーの点検を!

こんな症状はありませんか

- 運転ボタンを押しても運転しない。
- 電源プラグ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 運転中、ときどき止まる。
- 運転中、異常な音がする。
- 本体が変形していたり、異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- 部品が破損している。

ご使用
中止

このような症状のときは、故障や事故の防止のため、すぐに運転を停止し、電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店へ点検・修理をご相談ください。

お客さまご相談窓口

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談

〈アクア株式会社〉

受付時間：(365日) 9:00~18:30

総合相談窓口

固定電話からは



0120-880-292

携帯電話からは



0570-040-292 (有料)

FAXでご相談される場合



0570-013-790 (有料)

家電商品の修理サービスについてのご相談

〈アクア株式会社〉

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～18:30

土曜・日曜・祝日 9:00～17:30

修理相談窓口

固定電話からは



0120-778-292

携帯電話からは



0570-030-292 (有料)

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

<利用目的>

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のためにアクア株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ <https://aqua-has.com/privacy/> をご覧ください。

アクア 株式会社

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1丁目11番12号

FT1R-MN01